



守口市公民連携デスク

Public Private Partnership



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

守口市 企画財政部 企画課

公民連携の守口市の動向と背景

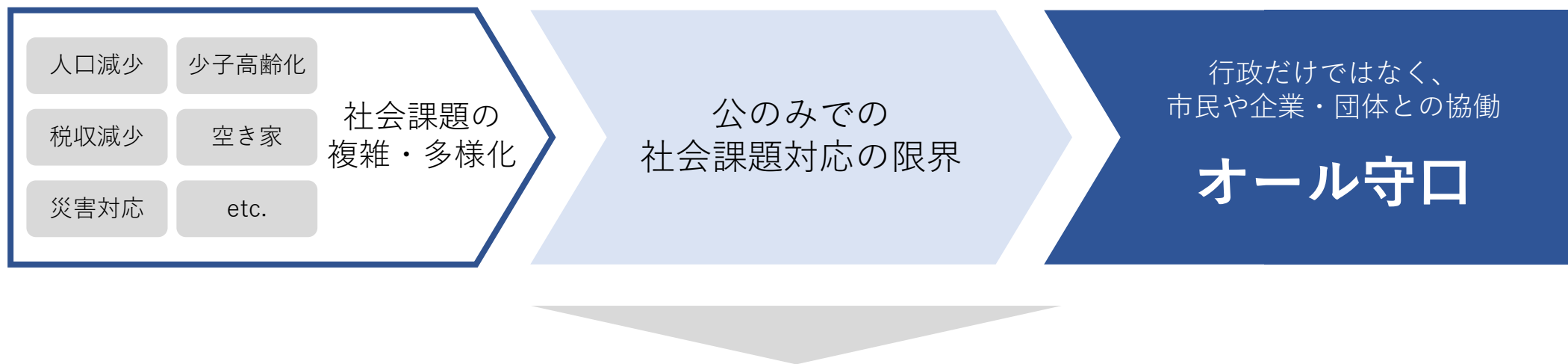


人口減少、少子高齢化、都市部と地方の地域格差等から生じる様々な社会課題の解決に向けて、各自治体では公民連携による新たな取組みが進められている。

守口市でも急速に進んだ人口減少や少子高齢化、加えて近年の災害リスクの高まりなど、本市を取り巻く社会経済状況の大きな変化に対応するため、第6次総合基本計画において市民や企業・団体などとの連携の重要性を示している。

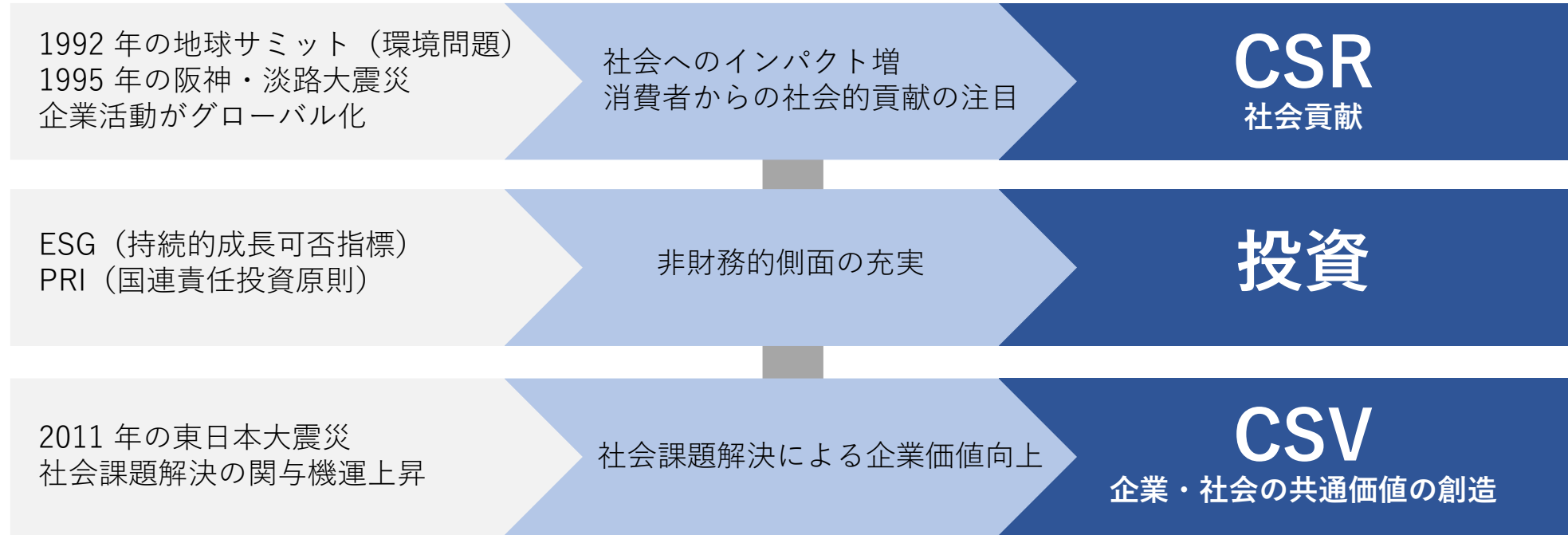
また、第3次守口改革ビジョン(案)策定においても、公民連携の推進を基本理念の一つとして、公共施設整備等におけるPPP/PFI等の手法の導入や民間事業者のノウハウ等の活用を図る公民連携手法を導入した事業の拡大を謳っている。

そこで企業・大学等の連携提案を逃さず、スピーディに対応するため、選任の窓口として守口市公民連携デスクを設置。



企業・大学・団体等との連携選任窓口 守口市公民連携デスクの設置

公民連携に対する民の動向と背景



2015年SDGsの採択
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



民（企業・大学・団体等）が社会的課題を担う主体

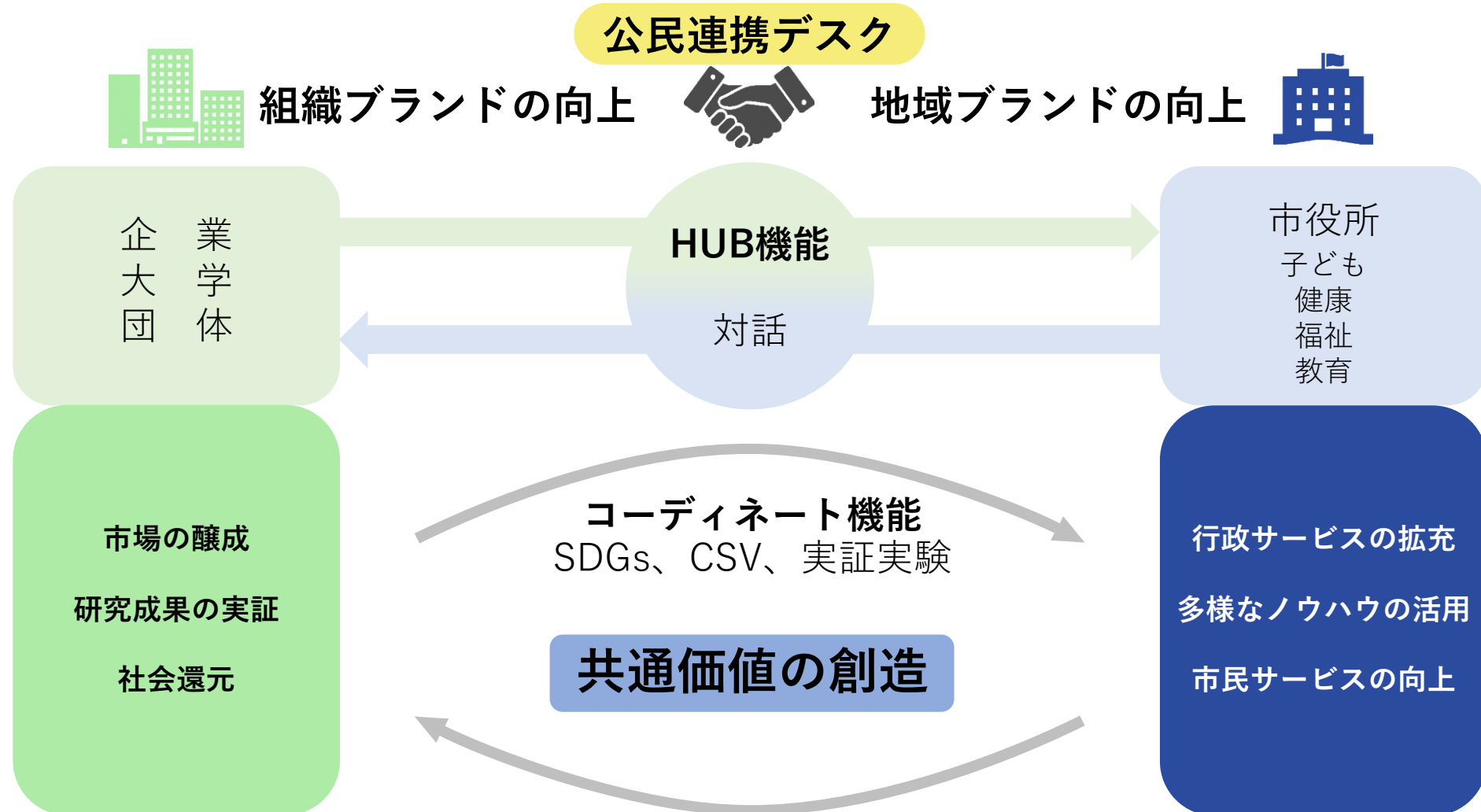


守口市公民連携デスクが担うPPP



SDGs、CSV・CSR、実証実験での連携

企業の提案と市役所内部の相談を受け該当する部局や企業につなぐHUB機能と、対話により連携を加速させるコーディネート機能を担う



大阪府から守口市に繋がった事例



小学校トイレ快適プロジェクト

- ・小林製薬(株)のブルーレット発売50周年記念企画にちなんだCSV。「臭い」「汚い」イメージの小学校のトイレを快適にするため、「トイレの正しい掃除の仕方」と「正しいトイレの使い方」を楽しく学び続けるプログラムを提供
- ・守口市教育委員会と調整し、守口小学校、よつば小学校の2校で実施



守口市のwin

- ・小学校のトイレ環境の維持・改善
- ・トイレ清掃というテーマでの情操教育の機会創出

企業のwin

- ・企業価値及び商品ブランドの向上

市民のwin

- ・清潔なトイレを使用することができる
- ・正しトイレ清掃を学ぶ機会の創出

寄贈による子ども支援

- ・グロウ(株)から、支援が必要な家庭の子ども達への子ども服の活用として市に寄贈
- ・(株)MiLから新型コロナ禍での子ども支援としてベビーフードを「あえる」に寄贈
- ・子ども支援相談窓口での配布、家庭訪問時での配布に活用



守口市のwin

- ・窓口で保護者が安心感を得ることや、訪問時でのコミュニケーションの促進につながった

企業のwin

- ・企業価値の向上
- ・子供服についてはデザインの更新等で廃棄するものが再利用され、環境負荷の軽減にもつながる。

市民のwin

- ・各種商品の提供を通じた支援



府内他市町村の事例



阪南市

- ・大塚製薬との連携による健康セミナーの開催
- ・令和2年度スポーツ庁の運動・スポーツ習慣化促進事業として、「栄養」・「睡眠」という2つのテーマで開催。



東大阪市

- ・ITを活用し運送業界における新たな価値の創出を目指すスタートアップであるCB cloud(株)と連携したコロナ禍での買い物支援及び市内商業活性化の取り組み



枚方市

- ・シェアサイクル事業として交通利便性の向上を図るとともに自転車の利用データを交通対策・観光施策へ活用する取り組み。

【シェアサイクルを活用した取り組み】

- 交通利便性の向上
- GPSによる行動データを交通対策・観光施策へ活用

枚方市

- ・ポート提供
- ・広報PR

事業者

- ・サービス展開
- ・データ無償提供

<シェアサイクルサービスの特徴>

- 24時間いつでも利用可能。ポートであればどこでも貸出・返却できる。(乗り捨て可能)
- スマホ上のアプリで会員登録を行い、アプリ内に金額をチャージしておけば、かざすだけで利用可能
- 月額利用や時間単位のデイパス利用と料金プランは選べる





CSV、SDGs等での連携

HUB機能

市内を横断する公民連携の一元的窓口（公契約等を除く）

事例の蓄積

大阪府派遣職員の経験のアウトプットと構築したコネクションの活用

ニーズ把握

守口市の進める公民連携における企業のニーズ把握

PFI事業

案件により対応

にぎわい交流施設最適配置調査事業

今後の公民連携の位置付けについて検討